

2022年3月期 第3四半期決算説明会 アナリスト・機関投資家向け質疑応答摘録

2022年2月7日
株式会社SUBARU

Q：半導体不足による生産制約により、前回発表（2021年11月5日）値に対し下方修正とし、生産台数を非公表とした背景は何か。

A：前回発表時は、業界全体で発生している構造的な半導体不足による部品供給制約の緩和を見通して、第3四半期以降に挽回生産を計画していた。しかしながら、現時点においても供給制約は継続しており、また1月下旬に突発的に想定以上の部品供給不足が発生し、国内生産拠点の操業を停止せざるを得ない状況となった。現時点においても続く先行き不透明な状況の中、突発事象については1台でも多く生産に結び付けるためにお取引先との交渉と生産計画のこまめな見直しを進めている状況であり、生産台数は非公表とさせていただいた。

Q：他社と比較して、相対的に生産回復が遅い要因は何か。

A：他社の状況については言及できないが、当社は業界内で規模が大きくはない企業であることから、生産拠点は日本と米国の2拠点のみ、また展開車種を絞って部品の共有化を図るなど、「選択と集中」戦略をとっている。そのため、ある断面を切り取るとその戦略が宿命的に影響を大きくした可能性があると考えているが、これに甘んじることなく、しっかり今回の事案を教訓にさらに実力を高めるべく戦略を磨いていく。

Q：来期以降の生産回復の見通しについて。年間の生産能力は約115万台と言っているが、半導体・部品の供給不足が解消すれば、フル生産が出来る体制にあるのか。

A：大変多くのお客様にお待ちいただいている状況であり、部品供給制約の緩和・解消に合わせて、生産レベルを上げていきたいと考え、準備は常に進めてきている。但し、特に米国においては製造業全般で起きている人材不足、物流の混乱等を考慮すると、短期的にフル生産を実現するのは厳しいと見ている。

Q：通期計画を見ると、原材料・市況▲846億円を、販売奨励金の抑制+380億円で相殺が出来ていない。今後原材料・市況の高騰をどのように吸収していく考えか。

A：インセンティブ費用の抑制に加え、販売価格の値上げ、モデルミックスの改善等により、引き続きコスト増を吸収していきたいと考えている。

Q：世界的なコンテナ不足による運賃の高騰が続いているが、今後の物流コストへの影響をどう見ているか。

A：当面コンテナ不足によるリスクは織り込まなければならないと思う。一方、自動車専用船については、大きな影響はないと見ている。

Q：第3四半期（3カ月）の生産台数に対し連結販売台数が約3万台下振れている背景は、コンテナ船不足等による物流遅延の影響か。

A：第3四半期の生産台数20.7万台に対し、連結販売台数は17.3万台。コロナ影響等により一部物流に滞りは発生しているが影響台数は限定的で、生産・出荷タイミングにより洋上在庫を含む連結在庫となったため。

Q：中期経営ビジョン「STEP」で掲げた営業利益率目標8%は、生産が正常化すれば見えてくるのか。

A：現時点でも生産が回復すれば、達成可能と思っている。市況等は高騰しているが、世界的なインフレに伴い、業界全体で車両販売価格を上げる傾向にある。当社としても販価反映や上級モデルへのシフトを進めており、また昨今業績への影響が大きかった品質関連コストも抑えられてきていることを踏まえ、サステナブルな営業利益率8%という軸は変えずに、引き続き臨んでいきたいと考えている。

Q：半導体の調達改善に向けた取り組みはあるか。

A：先日リリースにてご案内の通り、調達本部の役員体制を1人から3名にし、専任の半導体供給の担当役員が集中的に対応している。加えて半導体を搭載する部品数が多いため、しっかりと安定調達に繋がるように開発側の体制も同時に強化している。

Q：25～30年に御社が目指す自動運転レベル2+に対し、渋谷拠点（SUBARU Lab）において開発を行っているAIは非常に重要な技術だと思うが、開発の進捗はどうか、どのように先行開発の取組みを行っているのか。1月にSUBARU Labにて「SUBARU画像認識チャレンジ*」を実施したことで、どういう人材の採用やコラボレーションができていくのか。

A：渋谷拠点への応募は非常に多い。解析スピードを上げるプログラム作業において非常に効果が出ているということもあり、先行開発という意味で成果が出てきている。次世代の自動運転技術については、当社にとって非常に重要な技術戦略の一つと考えており、レンズやカメラに限らず、電動プラットフォームやCPU等、あらゆるものを最新化していく開発となる。まさにEV時代を切り開いていくときのSUBARUの肝になると考えており強化していくが、現時点で具体的な話は開示出来ない。

* SUBARU 画像認識チャレンジ： https://www.subaru.co.jp/news/2021_11_19_134519/

以上